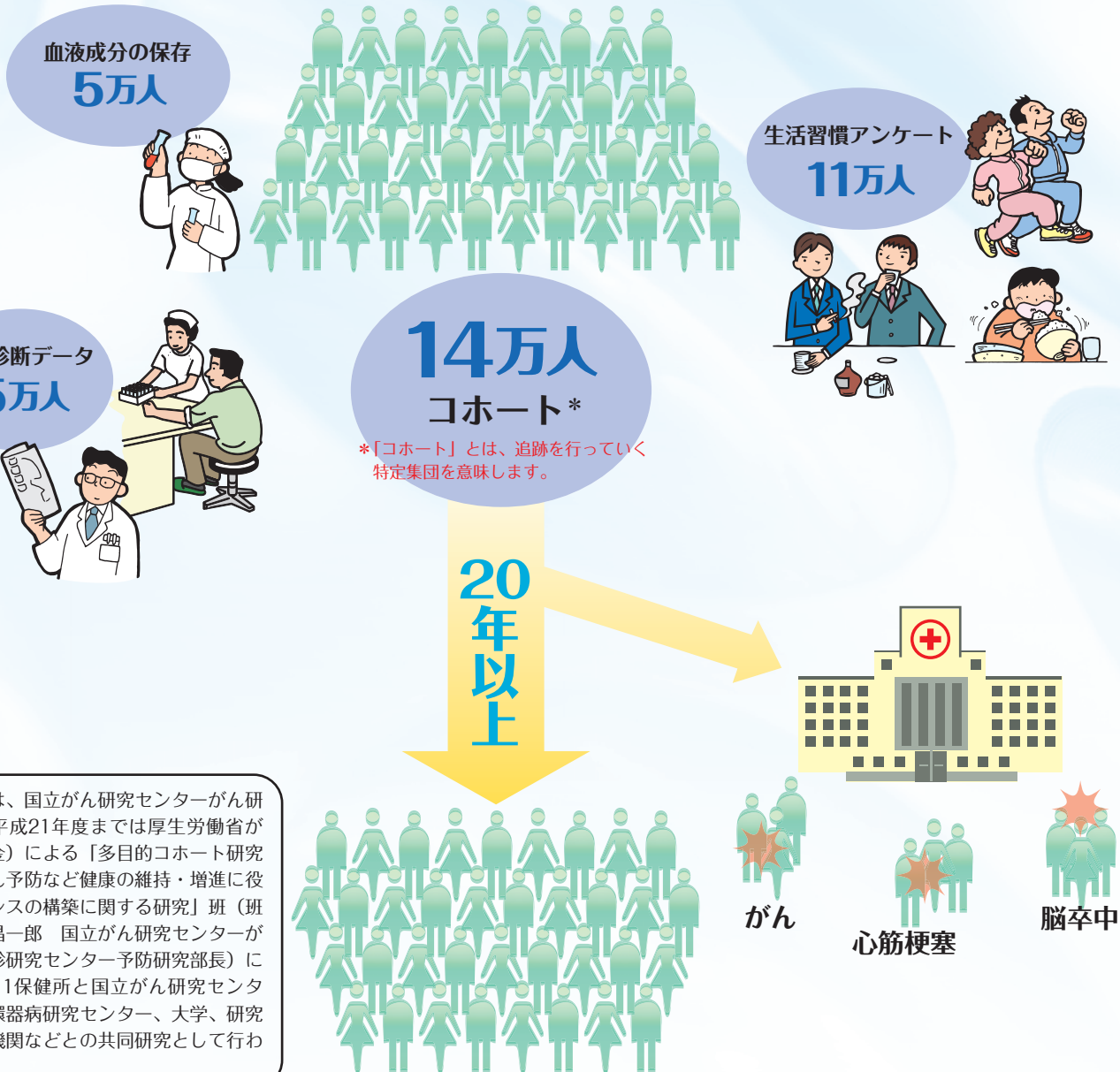
多目的コホート研究

JPHC STUDY

Japan Public Health Center-based Prospective Study

研究の概要 Outline

日本人をその平均寿命（平成20年：男性79歳、女性86歳）以前に死に至らしめたり、生活の質を低下させる重要な原因になっている、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病などの病気の発生には、食習慣・運動・喫煙・飲酒などの生活習慣が深く関わっており、生活習慣の改善によって、これら疾病の発生をある程度未然に防ぐことが可能であるものと考えられています。しかしながら、どのような食事をどの程度とればよいのか、飲酒はどの程度が適量であるか、などについて、日本人についてのデータは十分とは言えないのが現状です。そこで、約10万人の地域住民の方から生活習慣や健康に関する情報と血液を提供していただき、どのような生活習慣を持つ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにするために、多目的コホート研究を立ち上げ、10年以上にわたる長期追跡により、結果を積み上げてきました。さらに期間を延長することにより、長期にわたる予防やリスク要因について、新たな実証的データを得て、日本人の健康のためにはどのような生活が望ましいのかを追求します。



この研究は、国立がん研究センターがん研究開発費（平成21年度までは厚生労働省がん研究助成金）による「多目的コホート研究に基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」班（班主任　津金昌一郎　国立がん研究センターがん予防・検診研究センター予防研究部長）において全国11保健所と国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、大学、研究機関、医療機関などとの共同研究として行われています。

研究の対象者 Study Population

コホートⅠ 【平成2年 研究開始】

地域住民コホートとして

- 岩手県二戸保健所地域……二戸市および軽米町
- 秋田県横手保健所地域……横手市および雄物川町
- 長野県佐久保健所地域……南佐久郡８町村（臼田町、佐久町、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、八千穂村）
- 沖縄県中部保健所地域……具志川市および恩納村

に在住する、平成元年12月31日現在で40歳以上60歳未満の方（昭和５年１月１日から昭和24年12月31日に生まれた方）全員を、市町村の住民基本台帳より抽出して対象者としました。

大都市住民コホートとして

- 葛飾区保健所地域……葛飾区

に在住する、平成２年より６年までの５年間に、区が実施する40歳および50歳の節目健診を受診された方を対象者としました。

コホートⅡ 【平成5年 研究開始】

地域住民コホートとして

- 茨城県水戸保健所地域……友部町および岩瀬町
- 新潟県長岡保健所地域……小国町
- 高知県中央東保健所地域……野市町および香我美町
- 長崎県上五島保健所地域……宇久町、小値賀町、新魚目町、有川町、上五島町および奈良尾町
- 沖縄県宮古保健所地域……平良町および城辺町

に在住する、平成４年12月31日現在で40歳以上70歳未満の方（大正12年１月１日から昭和27年12月31日に生まれた方）全員を、市町村の住民基本台帳より抽出して対象者としました。

大都市住民コホートとして

- 大阪府吹田保健所地域……吹田市

■平成５年度吹田市総合健康診査（40歳と50歳の節目健診）対象者（平成５年４月から平成６年３月までに40歳または50歳の誕生日を迎える方）のうち、それぞれの誕生日の時点で吹田市に住民票があることが確認できた方を対象者としました。

■国立循環器病センター計画健診対象者で、平成元年４月１日から平成４年４月１日にわたって、吹田市住民基本台帳から性、及び10歳階級の年齢で層別化して無作為に抽出した者のうち、平成５年４月１日時点で40歳以上70歳未満であり、吹田市に住民票があることが確認できた方を対象者としました。

ベースライン調査 Baseline Survey

対象者に対して、生活習慣などに関するアンケート調査を行いました。また、地域や職域で行われる健康診断の機会を利用して血液や検査データの提供をお願いしました。

アンケート調査

対象者全員に対して、共通自記式アンケート質問票「健康づくりアンケート」を配布・回収し、健康状態、喫煙・飲酒、食生活、身体活動などの生活習慣についての情報を提供して頂きました。

血液試料および健康診断データの収集

市町村で実施する老人保健法による基本健康診査や職場で実施する労働安全衛生法による定期健康診断などの機会を利用して、受診し、同意を得られた対象者の血液試料と健診データを提供して頂きました。

5年後調査・10年後調査・15年後調査 Additional Surveys

コホート研究の開始より５年後の時点において、コホート対象者に対して、２回目のアンケート調査を行いました。目的は、ベースライン時のアンケート調査では定性的にしか把握出来なかった、対象者の食物摂取状況について半定量的にとらえること、生活習慣の変化をとらえること、そして、疾病罹患情報を得ることです。また、血液試料および健康診断データの収集を、ベースライン調査時に準じ実施しました。

コホート研究の開始より10年後に、コホート対象者に対して、ほぼ同様の内容で３回目のアンケート調査を行いました。さらに、15年後に、健康状況に関する簡単なアンケート調査を行いました。

フォーローアップ調査 Follow-up Cohort Participants

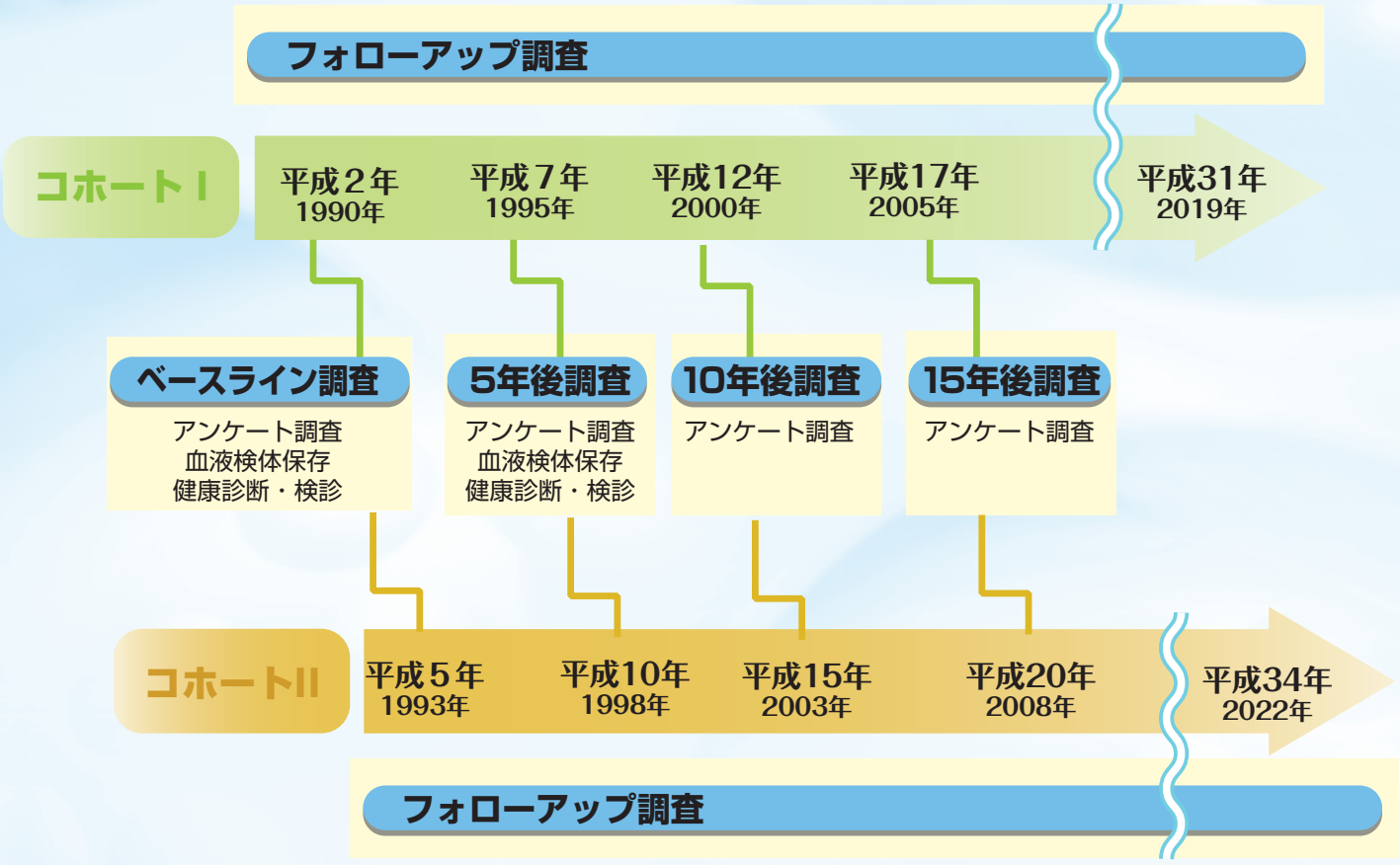
コホート対象者全員の、①死亡、②転出および再転入、③がん、循環器疾患（脳卒中、心筋梗塞）、糖尿病などの病気の罹患についての把握を行っています。

研究成果の還元 Public Relations

参加者へのコホート研究の成果に関する情報の還元などを目的に、成果の概要をまとめた冊子等をお送りしています。また、研究班のホームページで最新の情報を入手できるようにし、希望者へe-mailでリサーチニュースの配信を行っています。

研究スケジュール Schedule

コホートⅠの平成２年からの予定とコホートⅡの平成５年からの流れを以下に示します。



問い合わせ先 （平成22年10月現在）

Japan Public Health Center-based prospective Study

多目的コホート研究事務局

〒104-0045　東京都中央区築地5-1-1　独立行政法人国立がん研究センター
がん予防・検診研究センター　予防研究部内
TEL：03（3542）2511（内線3392）　FAX：03（3547）8580
E-mail：jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp　ホームページ：http://epi.ncc.go.jp/jphc/